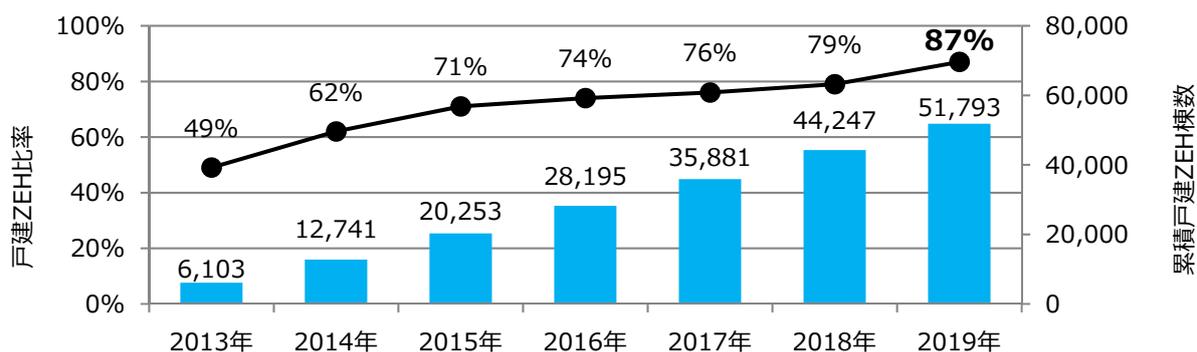


積水ハウスは ZEH 比率 87%、実績 4 年連続 No.1 を達成*1 グループ総合力で ZEH のレジリエンス性を更に強化した 「グリーンファースト ゼロ+R」により ZEH 普及を加速

当社の 2019 年度の新築戸建住宅における ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の比率が 87% *2 となり、2020 年度当社目標の 80%を前倒しで達成しました。また、2013 年から供給を開始した当社の ZEH 「グリーンファースト ゼロ」の累積普及棟数は 51,793 棟（2020 年 3 月末現在）となりました。

集合住宅においても、2019 年度に 58 棟の ZEH-M、447 戸の ZEH 住戸を供給し、累計 103 棟 691 戸となりました*3。これらの戸建住宅及び集合住宅の ZEH による CO₂ 排出削減効果は、合計で約 71 万 t-CO₂ *4 となり、温暖化防止に大きく貢献しています。

政府は第 5 次エネルギー基本計画において「2020 年までにハウスメーカー等が新築する注文戸建住宅の半数以上で ZEH の実現を目指す」と目標設定しています。当社では全社をあげて ZEH を推進、81 支店（賃貸住宅支店を除く）のうち、61 支店で当社目標の 80%以上を達成、うち 19 支店では既に 90%を超えています。



ZEH は温暖化防止効果の他に、災害時のレジリエンス性の高さからも注目されています。積水ハウスは 2004 年に蓄電池を初めて住宅に標準採用し、災害時の自立生活を目指した「省エネ・防災住宅」を発売、2011 年には太陽電池・燃料電池・蓄電池の 3 電池を日本で初めて連携制御した「グリーンファースト ハイブリッド」を発売するなど、早くから住まいのレジリエンス性強化に取り組み、「グリーンファースト ゼロ」もこれを深化させながら推進しています。また、当社はこれまでの地震や台風による災害発生時、全国のグループネットワークや独自の災害対応システムを最大限に活用し、オーナー様に日常生活を 1 日でも早く取り戻して頂くための様々な支援を行ってきました。住まいそのものの強靱化に加え、積水ハウスグループの災害時サポート体制でレジリエンス性を高めた防災ゼロエネルギーハウス「グリーンファースト ゼロ+R（レジリエンス）」という考え方で、気候変動に伴う激甚災害への備えと地球温暖化防止に貢献する住まいづくりを推進し、ESG 経営のリーディングカンパニーを目指して参ります。

*1 大手ハウスメーカーなどを含む戸建住宅会社の 2016 年度～2019 年度までの ZEH の累積建設実績（当社調べ）

*2 2019 年 4 月から 2020 年 3 月期、北海道/A 登録：目標 40%、実績 10%。北海道以外/B 登録：目標 79%、実績 87%

*3 ZEH-M の ZEH-M Oriented から ZEH-M までの 4 種類の分類において、当社は太陽光発電を搭載しない ZEH-M Oriented は除外

*4 1990 年における新築住宅居住時の CO₂ 排出量と比較した場合の CO₂ 削減量

■「グリーンファースト ゼロ+R」 - 建物自体のレジリエンス性



積水ハウスでは、地震や台風をはじめとするさまざまな自然災害に対して、まず建物自体が災害に耐えられる頑丈さを備え、かつ被災後にも生活空間、水・食糧・エネルギーを確保でき生活し続けられる防災ゼロエネルギーハウスが必要だと考えています。

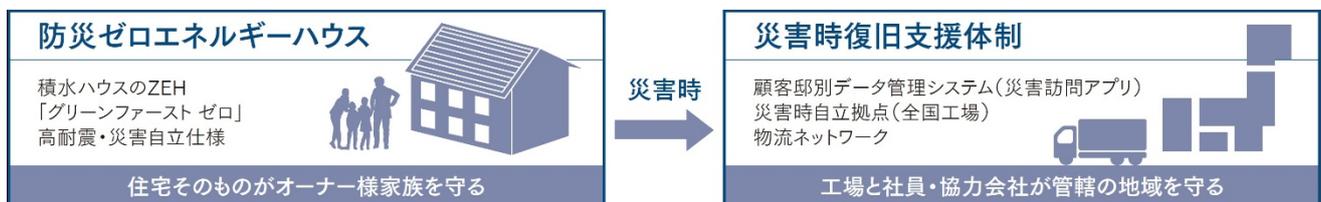
エネルギー確保に関してはZEHの構成設備が役立ちます。晴れた日中は最も大きな電力を供給できる「太陽電池」、ガスと水道の供給があれば雨天時や夜間でも発電できる「燃料電池」、さらに、太陽電池や燃料電池で発電した余剰電力を蓄えておくことのできる「蓄電池」の3電池連携システムならば、停電が複数日にわたって続いても普段に近い暮らしが可能になります*。*設備の機種や性能により制限があります



■「グリーンファースト ゼロ+R」 - グループで支えるレジリエンス性

積水ハウスでは、いざ災害が起きた際には建物自体のレジリエンス性によってまずはオーナー様の安全を確保します。そして、オリジナル邸別データ管理システム「災害訪問アプリ[※]」や物流ネットワークを駆使し、オーナー様の安否や被災状況をいち早く把握するとともに全国の工場を地域復旧支援の拠点とするなど、速やかにオーナー様の暮らしを復旧させるための体制を整え、オーナー様が1日でも早く日常生活を取り戻して頂けるよう支援を行います。例えば、2011年の東日本大震災時においては、迅速に対策本部を設置、発生3時間後には支援物資の輸送を開始しました。2019年に千葉県南部を襲った台風15号では、発生から3日程度で被災エリア全オーナー様の被害状況確認と被災した約300棟の初期対応を完了しました。

積水ハウスのZEH「グリーンファースト ゼロ+R」は建物自体のレジリエンス性だけでなく、グループ支援による「レジリエンス」が大きな特徴です。



※「災害訪問アプリ」とは、マップ上にプロットされたオーナー様情報を瞬時に確認し、図面や訪問履歴、被害状況の写真などを一元管理する積水ハウスオリジナルツールです。このツールにより、オーナー様の最新情報を関係者で容易に共有でき、緊急時における適切な対応を正確かつスピーディに行うことができます。

